

【11月18日は「土木の日」暮らしを支える土木事業の在り方考える
建コン協 野崎会長（オリエンタルコンサルタンツ社長）土木の重要性と魅力の発信】

近年、気候変動の影響により、自然災害が頻発化・激甚化しています。また、日本の社会経済活動を支えるインフラが



一般社団法人建設コンサルタンツ協会会長

野崎 秀則

老朽化し、その影響が懸念されています。加えて、人口減少・少子高齢化が進む中、日本の国際競争力は相対的に低下している状況です。今日的には、新型コロナウイルスの感染拡大に対してポストコロナ社会の新たな働き方・暮らし方が求められています。さらに、カーボンニュートラ

の生命と財産を守る防災インフラ等について、予算の裏付けのある中長期計画を策定し、公共投資を安定的かつ着実に推進することが重要と考えます。その公共投資の見直しを踏まえ、民間投資も促進され、相乗効果により社会経済活動全体が活性化すると考えます。

土木の重要性と魅力の発信

ルを含めSDGsの目標達成に向けて、持続可能な社会づくりが求められています。

建設コンサルタントとしては、土木事業を通じて、多様化・複雑化する社会課題に対して、安全・安心な社会、快適・活力ある社会、魅力ある持続可能な社会の創造に向け、技術を磨き、社会に貢献する必要があります。また、このような土木事業の重要性やそれを支える土木技術者の役割について、広く国民の皆さま

このような背景の中で昨年、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」が策定され、この着実な推進が望まれます。また、国際競争力を高め、社会経済活動を支える交通インフラや国民

に理解を深めていただく必要があります。建コン協では、市民や学生への現場見学会、広報紙の発行、戦後のインフラ整備の意義や偉業を伝える「インフラ整備70」講演会の開催など、多岐にわたる広報活動を行っています。さらに、土木業界が、優秀な若者にとって夢と希望を実現できる場であることが大切です。そのため、土木事業の構想力や技術力が評価され、社会に貢献する業界をつくること、加えて、DXの推進によりさらなる生産性向上や働き方改革を進めることは、産業としての魅力向上につながるかと考えます。

このような土木事業の重要性や土木事業の魅力が広く国民の皆さまに届く機会に「土木の日」がなればと願っています。